

県からのお知らせ

お願い

除雪作業は誰かと一緒に行いましょう！

大雪による被害や除雪中の事故が発生しやすい季節です。安全対策を講じて、事故を防ぎましょう。

- 除雪作業は、家族など身近な人に声をかけてから、必ず2人以上で行い、ヘルメットや滑りにくい靴などを着用して行いましょう。
- 危険性が高い「屋根の除雪」を行う際は、
 - ①建物の周りに雪を残して
 - ②はしごをしっかりと固定
 - ③安全帯、命綱を装着 を忘れずに行いましょう。
- 疲れたら休む！焦らない！油断禁物！を合言葉に。なお、除雪中は何かあった際、すぐに連絡を取れるように「携帯電話」を身に付けておきましょう。

問 県庁災害対策課 ☎024(521)7194

ふくしまぼうさいウェブ

検索

案内

「高次脳機能障がい」相談窓口のお知らせ

事故や病気で脳が損傷を受けると、記憶力、集中力、物事を順序立てて実行する力や、意欲や感情をコントロールする力などに障がいが生じ、社会生活に支障をきたす場合があります。これらを「高次脳機能障がい」といいます。

この障がいは分かりづらいこともあり、周囲の理解を得ることが難しいと言われています。県では、高次脳機能障がいの相談窓口として、県内6カ所に圏域支援拠点を開設しています。もしかしたら…とお悩みの方はご相談ください。

問 福島県高次脳機能障がい支援室
(総合南東北病院内)
☎024(934)5680



福島県高次脳機能障がい支援室

検索

お願い

自転車に乗るなら、ヘルメット着用と保険加入を！

自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方の死亡原因の約6割は、「頭部」の負傷です。大切な命を守るため、自転車を利用するときはヘルメットをかぶりましょう。

また、福島県では、自転車損害賠償責任保険等への加入が義務となっています。保険等に加入しているかの確認や、自転車の定期点検を行いましょう！



福島県交通対策協議会

問 県庁生活交通課 ☎024(521)7158

福島県自転車条例

検索

催し

「FUKUSHIMA Next Creators Challenge 2023」いわき展

青少年が創り上げたデジタルアート作品(静止画・動画)の展示会を開催します。VR体験・デジタルお絵描き体験など、楽しい企画も盛りだくさんです。1月27日(土)には、アニメーションディレクター・伊藤有吉氏、福島大学教授・渡邊晃一氏による講演も(特設ホームページから要申し込み)。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。※入場料・参加費無料



日時 1月26日(金)~28日(日)

午前10時~午後5時 ※最終日28日(日)は午後4時閉会

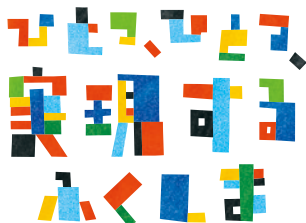
会場 いわき産業創造館 企画展示ホール (LATOV6階)

問 県庁文化振興課 ☎024(521)7154

FNCC 福島

検索

広報隊実現活動リポート



福島県のスローガンに思いを重ね、「実現」に向けた取り組みを実施する方々やPRツールを積極的に掲げただけの方々に「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま 広報隊」として募集しています。

本リポートでは、広報隊の活動をご紹介します。

地域の農業とコミュニティの力を^{のまど}を実現する。



特定非営利活動法人「野馬土」の皆さん

特定非営利活動法人「野馬土」は、東日本大震災で被災した農家の皆さんを中心に、2012年10月に設立されました。食品の放射能検査・土壌測定や被災地の視察ガイドツアーのほか、地域の農産物を使ったものづくり体験や地域のコミュニティ再生につなげるさまざまな交流イベントを開催しています。これからも自分たちのまちの今と未来にワクワク感を持ちながら、農家の皆さんと二人三脚で、福島農業復興に向けてひとつ、ひとつ、実現していきます。

缶バッジなど広報隊グッズをつけてPRしよう！
福島県スローガン広報隊募集中！

※PRツール等のご協力いただける方に無償で送付しています。



ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

検索

問 県庁広報課 ☎024(521)7124



読者からの
お便り

創刊300号おめでとうございます。いつも拝見させていただいています。福島県って広いですね。私の知らないことばかり。いろんな情報楽しみにしています。(60代 白河市)

2023年
12月号

ふくしま
ゆめたより